

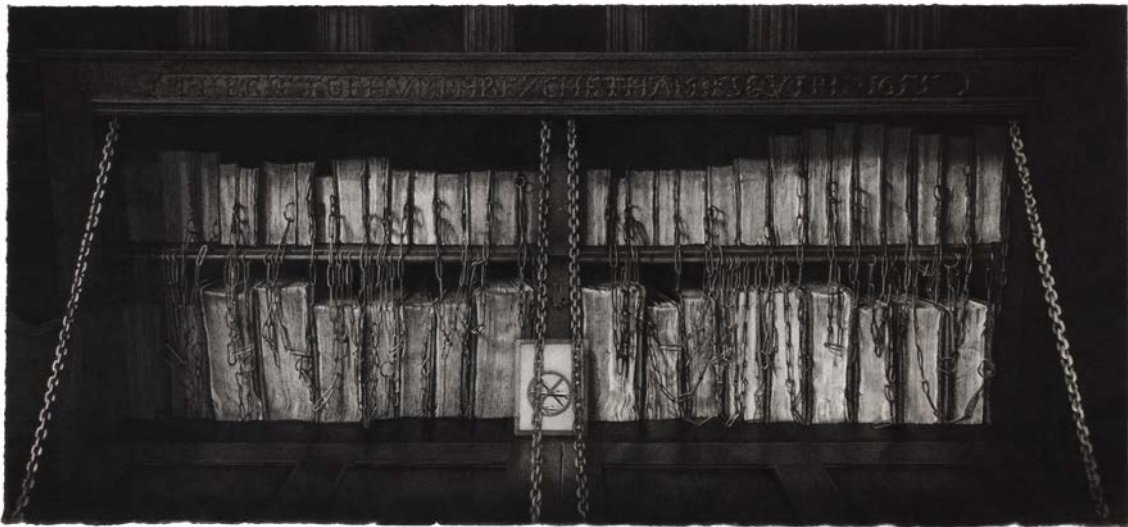
PRESS RELEASE

ギャラリー小柳 展覧会のご案内

寺崎百合子

Every step we take, each story we unfold 時を数えて

2024.8.24 (Sat) – 9.27 (Fri)



Yuriko Terazaki, *Chetham's Library #1*, 2024

報道関係者各位

平素よりお世話になっております。

この度ギャラリー小柳では、2024年8月24日（土）から9月27日（金）の会期にて寺崎百合子の個展「Every step we take, each story we unfold 時を数えて」を開催いたします。ギャラリー小柳で2017年の「Arks for Learning 図書館」展以来6回目の個展となる本展では、歴史ある図書館や大聖堂の階段を描いた新作を中心に展示いたします。

寺崎は、人の手によって作られ、長い月日の積み重ねられたものを描いてきました。権力の象徴や文化の依り代としての階段、劇場、楽器、人の知識と物語を納めた書物、そしてそれに触れてきた人々の気配を黒い色鉛筆の線を重ねながら表現しています。描き込まれたモチーフの細部を色鉛筆がこれ以上のらないほど緻密に重ね暗闇を描くことによって、場所そのものが辿った時の経過を表しています。

本展では、英国のチータムズ図書館やウェルズ大聖堂などを描いた作品を発表いたします。

チータムズ図書館は、マンチェスターに1653年に開館した英語圏における最も古い公共図書館で、織物商人として成功したハンフリー・チータムによって開設されました。人々に無料で利用を提供していましたが、当時書物は貴重であったため一冊ずつ鎖で繋がれ、閲覧のみできるようになっていました。後年の増書に伴い、今では当時を記念する展示としての柵以外は鎖に繋がれていません。寺崎は《Chetham's Library #1》でその鎖に繋がれた書物を、長い年月を経てわたしたちに受け継がれ親しまれてきた本というかたちを描き留めるべく、またその月日の時を想い、この柵を描きました。

15世紀に建てられたウェルズ大聖堂図書館も、今もなお鎖で繋がれた書物を所蔵しています。階段を作品として描きたいと考えていた30代の頃、寺崎はこの聖堂に石積みの長い階段があることを建築写真家のフレデリック・ヘンリー・エヴァンズ作品《A Sea of Steps》（1903年）で知りました。以来、いつかはこの階段を自分の眼で見、その石段を登ってみたいと願っていました。2019年の渡英によってその願いが叶い、この絵は作成されました。

エヴァンズ作品では、光が差し込む聖堂内の石積みのうねる階段を繊細な濃淡で表し、奥の扉までひと続きに見える角度から捉えています。寺崎の《Wells Cathedral Staircase》（2020年）は同じ角度から捉えながら階段の行方は暗闇に沈み、階段がどこに繋がっているのか、何処へと人々をいざなっているのかわかりません。わかるのは、幾百年の長い年月の幾百幾万の人々の一步一步が刻まれた、人々のあゆみの痕跡だけです。

トークイベントのお知らせ

展覧会初日の前日、8月23日（金）の午後5時から7時まで作家在廊にて展覧会プレビューとレセプションを行います。午後6時から、早稲田大学名誉教授の雪嶋宏一氏をお招きし、寺崎とトークを予定しておりますので、ぜひお立ち寄りいただけますようお願いいたします。

9月21日(土)の午後4時から5時には、有限会社BACH(バッハ)代表取締役でブックディレクターの幅允孝氏と寺崎によるトークイベントの開催も予定しております。あわせてお楽しみいただけますと幸いです。

資料および図版のご依頼は担当者までご連絡ください。

ご掲載の際にはご一報いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

ギャラリー小柳

【トークイベント詳細】

① 雪嶋宏一 × 寺崎百合子 トーク

「英国の図書館／ウェルズカテドラル図書館とチータムズ図書館」

日時：2024年8月23日（金）18:00-18:30 *座席の予約受付は終了いたしました。

早稲田大学名誉教授の雪嶋宏一氏をお招きし、寺崎の作品にも描かれている英国のウェルズ大聖堂図書館とチータムズ図書館などについて深掘りします。



雪嶋 宏一（ゆきしま こういち）

早稲田大学名誉教授

1955年生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。

早稲田大学図書館勤務後、2008年度早稲田大学教育・総合科学学術院准教授（専門は図書館情報学・西洋書誌学・中央ユーラシア考古学）、2013年度同学術院教授、2023年度早稲田大学名誉教授。

主な著作（西洋書誌学分野）に『Incunabula in Japanese libraries

（IJL2）』Yushodo-Press（2004）、『西洋古版本の手ほどき：基礎編』明治大学リバティーアカデミー（2011）、『アルド・マヌーツィオとルネサンス文芸復興』東京製本倶楽部（2014）、『書誌学の誕生：コンラート・ゲスナー「万有書誌」の研究』日外アソシエーツ（2022）等がある。

② 幅允孝 × 寺崎百合子 トーク

日時：2024年9月21日（土）16:00-17:00

有限会社BACH（バッハ）代表取締役、ブックディレクターの幅允孝氏をお招きし、寺崎と図書館や本について多岐にわたって語り合います。



幅 允孝（はば よしたか）

有限会社BACH（バッハ）代表取締役／ブックディレクター

人と本の距離を縮めるため、公共図書館や病院、学校、ホテル、オフィスなど様々な場所でライブラリーの制作を行っている。安藤忠雄氏の建築による『こども本の森中之島』ではクリエイティブ・ディレクションを担当。最近の仕事として「ミライエ長岡 互尊文庫」や「早稲田大学 国際文学館（村上春樹ライブラリー）」での選書・配架、ロンドン・サンパウロ・ロサンゼルス の JAPAN HOUSE など。近年は本をリソースにした企画・編集の仕事も多く手掛ける。

またNHKで放送された『理想の本箱 君だけのブックガイド』では「理想の本箱」選書家として出演。京都「鈍考／喫茶 芳」主宰。

* 「幅允孝 × 寺崎百合子」のトークイベントは先着 20 名様まで座席のご予約を承ります。

下記メールまたはお電話でご予約ください。

【問い合わせ先】 Mail: mail@gallerykoyanagi.com | Tel: 03-3561-1896

【広報用図版】

ご使用の際は、下記キャプションとクレジットラインを表記いただくようお願いいたします。
下記ご承知おきの上ご使用くださいますようお願いいたします。

- ・図版のトリミング不可
- ・図版への文字載せ不可
- ・図版の二次使用禁止、ご使用後は速やかにデータを破棄してください。



[キャプション]

寺崎百合子
Chetham's Library #1
2024 年
紙に黒色鉛筆
37.4 x 81 cm (sheet)

Yuriko Terazaki
Chetham's Library #1
2024
black color pencil on paper
37.4 x 81 cm (sheet)



[キャプション]

寺崎百合子
Wells Cathedral Staircase
2020 年
紙に黒色鉛筆
67 x 103 cm (sheet)

Yuriko Terazaki
Wells Cathedral Staircase
2020
black color pencil on paper
67 x 103 cm (sheet)

[クレジットライン]

© Yuriko Terazaki / Courtesy of Gallery Koyanagi
Photo: Keizo Kioku

【展覧会概要】

展覧会名：寺崎百合子 | Every step we take, each story we unfold 時を数えて

会期：2024年8月24日（土）－9月27日（金）

[プレビュー&レセプション：8月23日（金）17:00－19:00]

開廊時間：12:00－19:00

休廊日：日／月／祝祭日

会場：ギャラリー小柳

東京都中央区銀座1-7-5 小柳ビル9F

Tel: 03-3561-1896 Fax: 03-3563-3236

アクセス：

東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅7番出口より徒歩1分

丸ノ内線・銀座線・日比谷線 銀座駅A-9出口より徒歩5分

お問い合わせ：ギャラリー小柳

Tel: 03-3561-1896

Mail: mail@gallerykoyanagi.com

<http://www.gallerykoyanagi.com>

寺崎百合子

- 1952 東京生まれ
 1974 米国ハワイ州立大学芸術学部卒業
 1988-1989 米国ニューヨーク滞在 (Asian Cultural Council 奨学金取得)
 1998-1999 英国オックスフォード滞在
 (文化庁芸術家在外研修員として、New College, Oxford を拠点に図書館を取材。)
 現在 千葉県在住

主な個展

- 2024 「Every step we take, each story we unfold 時を数えて」 ギャラリー小柳、東京
 2019 「賑やかな沈黙」 スクールデレック芸術社会学研究所、東京
 2017 「Arks for Learning 図書館」 ギャラリー小柳、東京
 2013 「Yuriko Terazaki - drawings, Dmitry Badiarov- violins-」 Badiarov Violins、デン・ハーグ、オランダ
 2011 「YURI 展 寺崎百合子のもう一つの世界」 JIKE STUDIO、神奈川
 2010 「音楽」 ギャラリー小柳、東京
 2007 「文学、演劇、そして音楽/CASE」 ギャラリー小柳、東京
 2004 「BOOKS」 ギャラリー小柳、東京
 1995 「階段」 ギャラリー小柳、東京
 1991 J. Todd Galleries、マサチューセッツ、アメリカ

主なグループ展

- 2024 「ONE SINGLE BOOK」 ギャラリー小柳、東京
 2023 「MEMORIES 02” selected by Tomio Koyama」 CADAN 有楽町、東京
 2022 「6 Artists」 ギャラリー小柳、東京
 2021 「鉛筆画展」 日本橋三越本店 美術サロン、東京
 2020 「Obscurité | 寺崎百合子+貝塚健」 SALON、兵庫
 2019 「目黒区美術館コレクション展 コレクションの〈現在 (いま) 〉—絵画・彫刻・版画」 目黒区美術館、東京
 2017 「DOMANI・明日展 plus」 千代田区立日比谷図書文化館、東京
 「目黒区美術館コレクション展 来しかた、行くさき」 目黒区美術館、東京
 2013 「BOOK Chapter 1」 MA2 Gallery、東京
 2007 「線の迷宮 II—鉛筆と黒鉛の旋律」 目黒区美術館、東京
 1997 「バードハウスアート展」 大乘淑徳学園山中研修センター、山梨
 1996 「神奈川アート・アニュアル'96」 神奈川県民ギャラリー、神奈川
 1993 「KARUIZAWA DRAWING BIENNALE 1993」 脇田美術館、長野 ('94 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館に巡回)

パブリックコレクション (五十音順)

高松市美術館、香川

目黒区美術館、東京

著書

『英国オックスフォードで学ぶということー今もなお豊かに時が積もる街』2004年 講談社